



No. 2763
2019年5月30日
発行責任者 五十嵐敏
編集責任者 武田昌仙

4・4・4・4・3
20・14・9・6・27
15
バス東北賃金・夏季ダイヤ交渉
支部・分会代表者会議
第9回地方執行委員会
福祉問題学習会・慰労会
安プロ・支部業長合同会議

5・5・4・4・4
18・13・26・25・21
アスベスト対策委員会
安全問題を検証する集会（宮城・福島）
各支部調査部長会議
第10回地方執行委員会
19春闘中間総括会議

「変革」と鉄道安全問題

安プロ主催 4・25安全問題を検証する集会

安全・安定輸送が危機に

地方本部は4月25日、仙台市宮城野区中央市民センターと郡山市ビッグアイにおいて、「安全問題を検証する日」として集会を開催した。この間、地本安全問題プロジェクト会議（略称安プロ）では、仙台支社内での特微的な事故や事象をテーマにし、専門分野の組合員が報告を行うスタイルでの会議を実施してきた。今回は、地本運輸・工務・電気各協議会からこの間の会社施策についての検証と問題点について報告を受け、学習と討論を行った。

宮城県集会から

軌道悪化の現実

仙台会場では、まず仙台工務協議会佐藤議長から「保線メンテナンス最適化の検証」について報告がされた。佐藤氏は、「この施策は変革2027に向けた各部門での相次ぐ大合理化の先陣を切つて実施された施策であり、その三本柱は、①モニタリング装置によるメンテナンス、②閑散線区のメンテナンス見直し、③技術支援であるが、提案自体が夢物語のようで具体性がない」とし、議論が深まらず疑問点が明らかにならない交渉であったと感想を述べた。その上で自身の所属する山形エリアの実態を交え報告があった。また、佐藤氏は、様々な問題点を述べたが、

「18年7月以降、認定線区（当初閑散線区。違和感が出され後に修正された）の著大値が多発。特に仙山線での著大軌道変位では2月に検測車で発見され、3月には同箇所でもモーターカーが脱線した。この箇所でも万一営業車が脱線すると谷底に転落の恐れもあり、モーターカーの脱線で済んだのは不幸中の幸い」とし、命に関わる重大事故発生の危険性を指摘し、「鉄道の安全性は大丈夫か、危険性を覚える」と警鐘を鳴らした。

駅業務委託と無人化の問題

続いて運輸協議会から山田氏（岩沼駅連合）がこの間進められてきた駅業務の委託と無人化の問題点を報告した。山田氏は、「仙台支社では、4月現在で、駅総数290

駅、JR本体駅は27駅、業務委託駅81駅、簡易委託駅20駅、無人駅は162駅にも上るとした上で、「会社は当初駅の業務委託はシニア社員の雇用の場の確保と嘯いてきたが、そうであれば有人化や複数体制にすべきである」と主張し反対してきた。現在は利用者・売上の減少を理由にしてきている。しかし駅の任務は、駅周辺地域の活性化、事故対応や駅員が居ることによる様々な抑止力にもなっている。体にハンディのある方やお年寄りや子供にも安心して利用してもらおう役割がある。会社は地域と共に発展し、地域と密接に：と言うが結局は地域の切り捨てでしかない。地域住民や利用者にも実態を知らせ、自治体への要請等も取組み安全で安心して利用できる鉄道を目指して闘っていかう」と纏めた。

職場過半数代表選挙が実施される

関連会社での健闘が光る！
去年に続き、今年も多くの職場で職場過半数代表者（以下過半数代表者）を選出する選挙が実施された。言うまでもなく過半数

変革2027と反する施策

最後に電気協議会から立山幹線分科長が電気部門の変革2027の問題点について報告した。立山氏は「この施策は変革2027のビジョンを電気部門として具現する内容だが『究極の安全』をお客様と地域に対する信頼を更に高める』に逆行するものである」と批判した。その理由として、「この数年、設備管理を起因とする設備事故（大規模輸送障害）や感電事故が連続し、富田前社長が緊急事態宣言を出し、設備データの精度を5年計画で向上させると命令を出した。しかし現場では2001年に実施された人

【昌一】

【昌一】

みんなは一人のために、一人はみんなのために

苦難を乗り越え今がある



地方本部は4月14日（15日、ホテル松島大観荘）において、「福祉問題学習会及び慰労会」を開催し、19年度及び20年度に退職される予定の組合員のうち、36人の方が参加しました。

学習会では国労東日本本部大沼委員長から、「エルダー社員・嘱託社員の諸制度」についての説明がされ、続いて千葉組織部長からは、エルダー・嘱託社員の組合員継続加入の願いがあり、東北労金からは今後の年金についての詳細な説明がされました。

また交通共済、鉄道退職者の会からもそれぞれ加入の案内がされ、最後に一般財団法人国鉄労働会館仙台台地方部の取り組みとして、「JR年金制度の問題点と今後の取組み」と題した講演が橋本昭二氏より行われました。

場所を変えての慰労会では、40余年に亘る鉄道人生で苦楽を共にした仲間との語らいに花を咲かせ、また自慢の喉を披露する組合員には場を大きく盛り上げて頂きました。長い間、本当にお疲れ様でした。またありがとうございました。今後ともご指導をお願い致しますと共に、より



時と返る人生の激動

一層のご活躍をご祈念申し上げます。【昌】

※参加された皆さん（敬称略・順不同）

- 西條 利昭 ○金野 智
- 高橋 博之 ○鈴木 徹
- 北山 修司 ○岩崎 宏
- 富田 浩幸 ○菅野 弘幸
- 増井 富夫 ○歌川 広
- 坂内 英一 ○野中 裕治
- 山本 修二 ○榎 知平
- 佐藤 淳 ○齋藤 祐一
- 秋山 正浩 ○伊藤 稔
- 丹治 君夫 ○小野山富紀
- 奥田 信 ○山村 浩
- 山本 善昭 ○加藤 幹男
- 佐藤 涼一 ○金野 順行
- 加藤 孝一 ○石塚 和弘
- 小松 好美 ○柴田 敬明
- 原田好太郎 ○齋 正文
- 横田 英才 ○横山健治
- 庄司 修 ○柳田敏幸

仲間の異動

4月1日付 (出向)

- 歌川 弘さん
- 会津若松電力メセ (会津若松テムズ)
- 鈴木 康之さん
- 会津若松信号メセ (会津若松テムズ)
- (一般異動)
- 藤田 香さん
- テクノ小牛田 (テクノ郡山)
- 八木沼 利昭さん (福島駅)
- 米沢 政徳さん (福島駅)
- 福島 真さん (郡山電力技セ)



退職のお知らせ

3月31日付

- 鈴木 弘文さん (仙台信通区)
- 伊藤 明さん (退職・仙台テムズ)
- 南部 正美さん (仙台保線区)
- 佐藤登喜雄さん (退職・仙台保線区)
- 鈴木 伸治さん (仙総台車)
- 中島 紀夫さん (仙総車体)
- 白鳥 勝則さん (リビット仙台駅)
- 阿部 清美さん (仙総車体)
- 島山 浩さん (仙総運転)

エルダー・嘱託退職

- 3月31日付
- 梅宮 繁さん (郡山設備)
- 佐藤 廣さん (JR T M郡山)

4月30日付

- 早坂 齊さん (小牛田運輸区)
- 増井 富夫さん (郡山設備)
- 卯木 幸一さん (郡山駅連合)
- 斎 正文さん (仙総運転)
- 渡辺 一広さん (仙台電力区)
- 高橋 清美さん (郡山設備)
- 松浦 正広さん (小牛田運輸区)
- 加藤 宗男さん (岩沼駅連合)
- 佐藤 幸夫さん (貨物宮城)

エルダー・嘱託退職

- 4月30日付
- 長い間お疲れ様でした

